

市政記者各位

## 「福岡市農業 × スマート農業」 Fukuoka City スマート農業マッチングプロジェクト チャレンジ農園プログラム実証実験開始！

福岡市では、農作業の効率化や省力化、生産性の向上を図るスマート農業の推進のため、今年度より、市内生産者の課題やニーズと企業の技術やアイデアのマッチングを図る「Fukuoka City スマート農業マッチングプロジェクト」を開始しております。

今回、プロジェクトの一環である今津リフレッシュ農園での「チャレンジ農園プログラム」について、採択事業者3社のうち、「株式会社アイナックシステム」が12月1日より実証実験を開始いたしますので、お知らせいたします。

### 株式会社アイナックシステムの概要

- (1) 代表取締役 稲員 重典
- (2) 設立 2011年5月
- (3) 所在地 福岡県久留米市東合川4丁目1-1-101
- (4) 実証実験内容 水やり・土の温め・収穫の自動化で農作業の効率化・収益増



自動灌水システム、局所土壌ヒーターシステム、AIいちご自動収穫ロボット、LED補光を、小型栽培棚においてパッケージ化。都市型農業での普及を見据えたいちご栽培のハーフオートメーションを社会実装することで、農作業時間の大幅削減・収益増を目指す。



チャレンジ農園プログラム採択式



今津リフレッシュ農園実証実験ビニールハウス

### ＜添付資料＞

- ・株式会社アイナックシステム  
プレスリリース資料
- ・6月14日付記者発表資料
- ・チャレンジ農園プログラム採択企業一覧

【本リリースに関する問い合わせ先】

農林水産局政策企画課 森塚 [電話 092-711-4840]

## 【福岡市】スマート農業の実証実験開始。都市型農業の半自動化に12月1日から挑戦します。

AIいちご自動収穫ロボット『ロボつみ®』の株式会社アイナックシステムが、水・液肥・土壌温度・補光・収穫を自動化した農園を福岡市に作ります。

株式会社アイナックシステム(本社:福岡県久留米市、代表取締役:稲員 重典)は、Fukuoka City スマート農業マッチングプロジェクトに採択され、福岡市にある今津リフレッシュ農園にて、2024年12月1日から都市型農業の半自動化の実現に向けた実証実験を開始することをお知らせします。

【URL】<https://www.inaksystem.co.jp/news/QRaHQJX>



AIいちご自動収穫ロボット『ロボつみ®』とは？





AIいちご自動収穫ロボット『ロボつみ®』には3つの特徴があります。

- 1、事前設定したルートを、トラロープに沿って自動走行(特許)
- 2、AIでいちごを10段階評価、大きさを判定、収穫に適しいちごを選定
- 3、優しさを追求した果実収穫ハンド(特許)で優しく摘み取り、優しく置く

「ロボつみ®」は特許を2件取得しており、収穫労働時間を約60%削減し、いちごに触れずに収穫する事でいちごは従来より約4日程長持ちする特徴を持っています(弊社調べ)。

開発の背景はこちらのプレスリリースにて閲覧ください。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000142910.html>

実証実験でチャレンジすること

## 都市型農業の ハーフオートメーション化 アジアNo.1のスマート農業都市に

株式会社 アイナックシステム  
福岡県久留米市東合川4丁目1-1-101

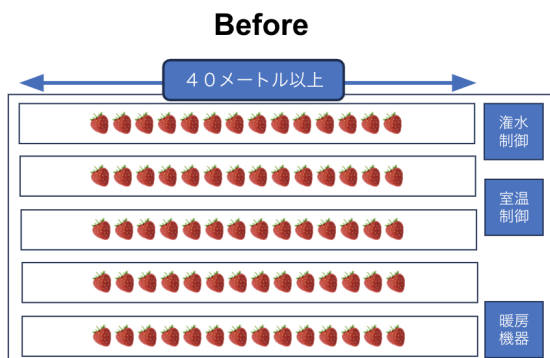


現状、多くのいちご農家では、ビニールハウス内の環境を一括制御しています。そのため何かあった際には、同じ条件下で栽培しているいちごは一気にダメになってしまう危険性があります。また、いちごの収穫ピーク時には、朝早く・夜遅く・連日収穫し続ける必要があり、心身ともに過酷な生産現場となっています。

### チャレンジ農園で実証したいこと

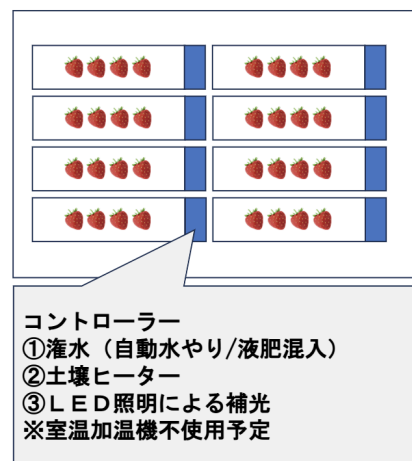


#### 新たな苺生産方式の実証



生産ピークに合わせて体力勝負

#### After



定量生産

— 5 —

今回の実証実験では、Afterの図のような1メートルほどの栽培棚に、それぞれ水・液肥・土壌温度・補光を自動化管理をするコントローラーを設置。同じビニールハウス内において異なる条件下で栽培することを可能にします。それにより、リスク分散をしながら、実がなる速度を変え、定量生産が可能になると考えています。また、1棚40メートルではなく、小分けの棚にすることによ

り、スペースに合わせた栽培棚の設置がしやすくなります。将来的にはいちご農家だけでなく、空港や社員食堂、ショッピングモール内等に設置していただけると嬉しいです。

12月中旬以降からいちごの実が赤くなり始める予定です。2025年1月以降の取材・視察を歓迎しております。省エネ大賞最終審査中の局所土壌ヒーターシステムや、スマホで遠隔管理できる灌水システム、AIいちご自動収穫ロボット等をより詳細にお伝えすることができます。

#### 【今津リフレッシュ農園】

今津リフレッシュ農園は、7haの広大な敷地に、市民の皆さんが野菜や花の栽培・収穫作業を行う体験農園（貸し農園・306区画）を中心に交流センター、ふれあい農園、モデル農園、芝生広場等が整備されています。

住所：〒819-0165 福岡県福岡市西区今津5685

URL：<https://imazu.q-rin.co.jp/>

## 株式会社アイナックシステムとは



工場と農業を自動化する会社です。

#### 【TOPICS】

- ・Fukuoka City スマート農業マッチングプロジェクトに採択 | 2024年
- ・京都府様と万願寺とうがらし自動収穫ロボットを共同開発開始 | 2024年
- ・局所土壌ヒーターシステムが省エネ大賞2024 最終審査中
- ・埼玉県深谷市DEEP VALLEY Agritech Award 2024 最終審査中
- ・世界各国からスマート農業視察を受け入れ

#### 【企業理念】

FAとスマート農業で「!!!!!!な」ものづくりを実現する

【事業内容】

- 産業用電気ハードウェア設計、ソフトウェア設計、試運転請負
- 産業制御盤製作・設置、配線工事請負
- 省力化機器製造・販売
- 農業用自動化機器製造・販売
- 協働ロボットシステム設計・設置・販売

※商標登録

・「ロボつみ」

※特許

・果実収穫ハンド(特許第6991611号)

適切な熟成段階にあるいちごを自動判別し、実を傷付けずに茎を短く切除する技術

・搬送装置(特許第7251808号)

農場内を自動走行する制御装置。低コストで開発でき、将来的な価格競争になった際に有効

【メディア実績】

・TV

NHK おはよう日本 生放送に出演、TNC テレビ西日本 福岡NEWSファイル CUBE「AI特集」にて放送、RKB 毎日放送 タダイマ「兎年に飛び跳ねそうな企業」にて放送、NHK福岡 あさです九州 沖縄にて放送など多数

・新聞・Webメディア

日本経済新聞、日経ビジネス、日経チャンネル、毎日新聞、TBS NEWS DIG、事業構想、マイナビ農業、下野新聞、農経しんぽうなど多数

【基本概要】

会社名 : 株式会社アイナックシステム

代表取締役: 稲員 重典

所在地 : 〒839-0809 福岡県久留米市東合川4丁目1-1-101

創業 : 2008年5月

設立 : 2011年5月

URL : <https://www.inaksystem.co.jp/>

【自治体・企業・報道等のお問い合わせ先】

株式会社アイナックシステム 取締役 高田樹彦

TEL : 0942-48-0451

e-mail: [takada\\_mikihiko@inaksystem.co.jp](mailto:takada_mikihiko@inaksystem.co.jp)

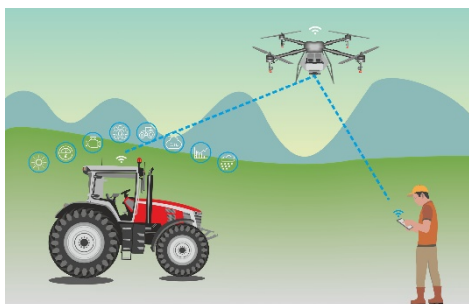


## 「福岡市農業 × スマート農業」

# Fukuoka City スマート農業マッチングプロジェクト 参加企業募集

福岡市では、農作業の効率化や省力化、生産性の向上を図るスマート農業の推進のため、市内生産者の課題やニーズと企業の技術やアイデアのマッチングプロジェクトを開始いたします。

**6月14日より参加企業等の募集を開始**しますので、周知ご協力をお願いいたします。



イラストは、イメージ

## ① 市内生産者とのマッチングプログラム

- **対象企業** : 市内生産者の課題等※ を解決する**スマート農業の技術・アイデアを有する**企業等
- **支援内容** : ①市がワンストップ窓口となり、きめ細やかなマッチングを実施  
②8月に市内生産者を招いたマッチングイベントを開催 など
- **申込締切** : 令和6年7月3日(水) 本プログラムの参加登録完了以降、随時マッチングを開始

## ② チャレンジ農園プログラム

- **対象企業** : 市内生産者の課題等※ を解決する**スマート農業の社会実装を目指し、今津リフレッシュ農園内で実証実験を希望する**企業等
- **支援内容** : ①今津リフレッシュ農園内の実証実験フィールドの提供  
ハウス2棟、露地畑1枚(各10~20坪程度)を1社につき1フィールド  
②賞金 100万円(実証実験の必要経費) など
- **選定方法** : 書類審査、プレゼンテーションにより参加企業等 **3社** を決定します  
(書類審査は、7社以上申込みがあった場合に実施します)
- **スケジュール** : **申込締切 令和6年7月3日(水) 17時**  
参加企業等決定 令和6年8月上旬(予定)  
実証実験開始 令和6年9月下旬(予定)

### ※市内生産者の課題等の例

- ✓ 軟弱野菜(春菊・小松菜など) : 夏場の生育不良、高温対策、病害虫の発生
- ✓ いちご : 収穫・選果・パッキング作業効率化、施肥・防除自動化
- ✓ トマト : 高温・強日射対策、収穫モニタリング など

詳細は公募要領の別紙「福岡市内生産者が抱える課題及び想定されるスマート農業技術要件」参照



公募要領・  
申込フォームは  
こちら

【本リリースに関する問い合わせ先】

農林水産局政策企画課 森塚 [電話 092-711-4840]

## チャレンジ農園プログラム採択企業一覧

| 企業名                                                                                                   | 事業内容                                                                                                                                                                                                    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  <b>Carbon Xtract</b> | <p><u>膜DAC技術を用いた小型ハウス向けのCO2施用装置の開発</u><br/> <small>カーボン エクストラクト</small><br/> <b>■ Carbon Xtract株式会社</b></p> <p>膜DAC（ナノ分離膜を用いて大気中からCO2を回収する技術）を施設園芸のCO2施用に利用するなど、化石燃料を使用しない環境配慮型の栽培方法の確立を目指す。</p>        |
|                      | <p><u>水やり・土の温め・収穫の自動化で農作業の効率化・収益増</u><br/> <b>■ 株式会社 アイナックシステム</b></p> <p>自動水やりシステム、局所土壌ヒーターシステム、AIいちご自動収穫ロボット、LED補光を、小型栽培棚においてパッケージ化。都市型農業での普及を見据えたいちご栽培のハーフオートメーションを社会実装することで、農作業時間の大幅削減・収益増を目指す。</p> |
|                     | <p><u>低農薬・低肥料で高収量・高付加価値を実現する次世代農業</u><br/> <small>サクモツ</small><br/> <b>■ SACMOT s</b></p> <p>PDDS（化学農薬や化学肥料を大幅に削減できる技術）、環境記憶種子（高温条件下でも作物の収量、品質を落とさない技術）によりコスト削減・高収入を目指す。</p>                            |